

— 東日本大震災被災地に対する義援金募金の終了および結果に関するご報告 —

東日本大震災被災地への募金に皆様より
多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

株式会社ドトール・日レスホールディングスは、傘下
事業会社である株式会社ドトールコーヒー、日本レスト
ランシステム株式会社、D&Nコンフェクショナリー株式
会社、D&Nカフェレストラン株式会社、株式会社サンメ
リーの運営する一部を除く各店舗、約1,900店舗にお
いて、東日本大震災の被災地に対する募金活動を実施
し、平成24年2月29日をもって終了いたしました。

このたびの募金活動においては、本当に多くの皆様
方のご協力を賜りました。その温かいご支援に対し、改
めて心より感謝申し上げます。当社では皆様方からお預
かりいたしました募金を日本赤十字社にお届けし、被害
にあわれた皆様のご支援及び復興支援活動などにお役
立ていただいております。また、弊社グループでは今
後とも引き続き可能な限りの支援活動を行っていく所存

義援金募金の総額

1億145万2,839円

(内訳)

募金の合計額	49,236,786円
弊社義援金	50,000,000円
サンメリー復興パンなど	2,216,053円

です。

被災された皆様方に対し、心よりお見舞い申し上げる
とともに、皆様の安全と平穏そして一日も早い復旧をお
祈り申し上げます。

株式会社ドトール・日レスホールディングス
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿樂町10番11号
TEL 03-5459-9178 (代表)

DOCTOR
株式会社ドトールコーヒー
www.doutor.co.jp

NRS
日本レストランシステム株式会社
www.n-rs.co.jp

UD FONT
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

FSC
ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

適切に管理された森林資源を
用紙の材料にしています。

VEGETABLE OIL INK

VOC(揮発性有機化合物)
の発生の少ない、ベジタブル
インクを使用しています。



CONTENTS

巻頭特集

ドトール・日レスグループの海外展開 第2弾	1
連結決算ハイライト	5
マネジメントメッセージ	6
事業別の概況	9
連結財務諸表	10
トピックス・ア・ラ・カルト	11
会社概要	15
株式情報	17

DNREPORT Vol.9

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2012年2月期 報告書



巨大消費市場アジアへの進出により、 新たな成長性を確保

成長著しいアジア市場。ドトール・日レスホールディングスは、日本で培ったさまざまなノウハウをもとに、アジア市場を中心に海外での事業展開を拡大してまいります。

グループ海外事業の進捗状況

ドトール・日レスホールディングスでは、一昨年11月にシンガポールにおいて洋麺屋五右衛門を初出店して以来、海外事業における本格的な店舗展開を開始いたしました。当期末現在、シンガポール14店舗、中国上海4店舗、台湾2店舗の合計20店舗の運営を行っております。

お蔭様で現地のお客様にもご好評いただき、多店舗化が進捗しております。今後は、シンガポールへのカフェ業態の進出、台湾へのレストラン業態の進出など、グループの持つ経営資源を最大限活かして業態の多様化を進めるとともに、アジア市場を中心に海外での事業展開を拡大してまいります。

■ 海外店舗一覧

	業態	場所
シンガポール	1 La mian xiao long bao	CityLink Mall
	2 La mian xiao long bao	Republic Plaza
	3 TeaHouse	Raffles City
	4 La mian xiao long bao	Vivo City
	5 Chopsticks	One Raffles Quay
	6 Dragon Inn	Iluma
	7 Lu Gang Xiao Zhen	ION
	8 Lu Gang Xiao Zhen	Nex
	9 洋麺屋五右衛門	Somerset
	10 洋麺屋五右衛門	MBLM
	11 洋麺屋五右衛門	CityLink Mall
	12 洋麺屋五右衛門	Katong Mall
	13 洋麺屋五右衛門	Changi City Point
	14 The Asian Kitchen	Changi City Point
上海	1 洋麺屋五右衛門	浦東環球金融中心
	2 洋食夷八軒	浦東環球金融中心
	3 洋麺屋五右衛門	南京西路四季坊
	4 洋麺屋五右衛門	静安寺
台湾	1 ドトールコーヒーショップ	民権
	2 ドトールコーヒーショップ	南京

グループ海外事業の現況

● ドトールコーヒーショップ民権店 リニューアル・オープン

昨年9月に、フランチャイズから直轄の事業に転換した台湾のドトールコーヒーショップ（民権店）の全面改装を実施し、この3月リニューアル・オープンいたしました。

日本では昨年来、ドトールコーヒーショップ30周年を機に、瞬時にブランドを判別できるように、店舗看板、サイン、販促物、消耗品などに使用するロゴを、「DOUTOR」のシンプルなデザインに統一しておりますが、台湾においても一目でドトールコーヒーショップとわかり、街のアイコンショップ、ランドマークとなるよ

うなデザイン設計になっております。また、商品のブラッシュアップも図ることでお客様の満足度も上昇しており、台湾における今後の多店舗化に向けた基盤作りが着々と進んでおります。



台湾のミラノサンド



ドトールコーヒーショップ(民権店)



M&Aも視野に入れ、 グローバル市場への進出を加速

ドトール・日レスホールディングスは、新たに3カ国に進出するとともに、今期末までに海外店舗を40店舗にすることを計画しています。

今後の海外展開について

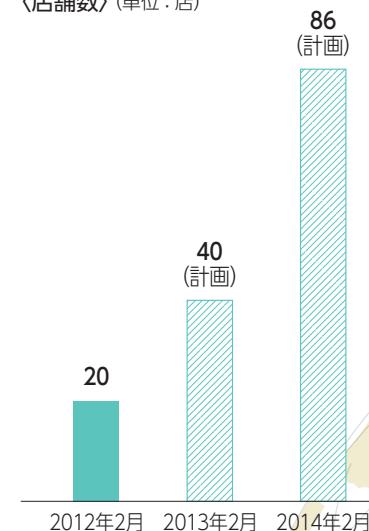
今後の方針としては、既に進出しているシンガポールにおいては、洋麺屋五右衛門を中心にレストラン業態の多様化を推進するとともに、カフェ業態の進出を図ります。シンガポールのカフェ事業においては、この7月を目処にドトールコーヒーショップの第1号店をオープンすることになりました。今回の出店を機に、カフェ事業においても、年度内にあと1~2店舗を出店することで、現地のお客様の反応を確認し、ブラッシュアップを重ね、来期以降の事業の拡大を推進していく計画です。また、台湾については、この3月にドトールコーヒーショップをリニューアル・オープンし、メニューの見直しなどを行った結果、お客様のご支持を頂くとも

に、利益率の改善にもつながっております。今後は、カフェ事業のチェーン化と多様化を推進し、レストラン事業である洋麺屋五右衛門の出店も検討してまいります。

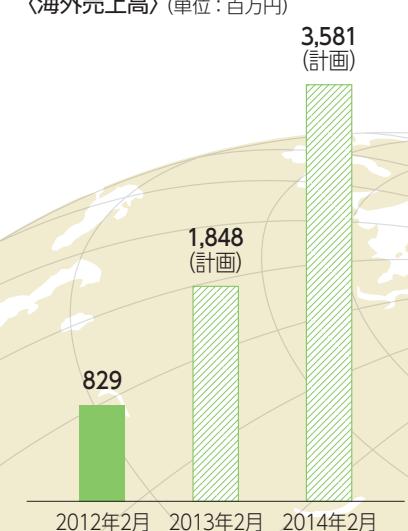
中国については、現在進出している上海の店舗におけるお客様の志向などをさらに分析し、商品のブラッシュアップを図りつつ上海以外の都市にも出店を検討するほか、カフェ業態の進出も視野に入れて事業の構築を図る予定です。

現在は、既に進出している3カ国以外の地域でASEANを中心に検討を重ねており、今年度中に別途3カ国程度の進出を図る予定であります。これらの地域

〈店舗数〉(単位:店)



〈海外売上高〉(単位:百万円)



についても、今期数店舗の出店を行い、現地にあわせて修正を重ねることで、来期以降の本格的な店舗拡大に繋がっていきたいと考えております。

今年度の海外出店計画は、合計20店舗程度出店を計画しております。今後は、年間15億円程度の設備投資を海外に振り向け、当面の目標・計画として、今期末に40店舗で18億円の売上を達成し、来期には80店舗で35億円程度の売上を目指す所存です。

シンガポール **14**店舗

上海 **4**店舗

台湾 **2**店舗

当期のポイント

- 増収を確保しつつも、原材料費の高騰により減益
- カフェ部門の卸売(チルド飲料、ドリップ)が増収を牽引
- アジア市場を中心とする海外展開を本格的に開始
- 期末配当は一株当たり13円(年間同26円)を継続

連結売上高

107,721百万円
(前期比 2.6%増)



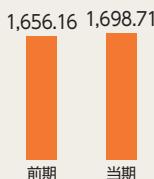
連結経常利益

7,475百万円
(前期比 7.7%減)



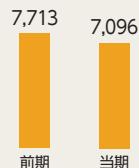
連結一株当たり純資産額

1,698.71円
(前期比 42.55円増)



連結営業利益

7,096百万円
(前期比 8.0%減)



連結当期純利益

2,513百万円
(前期比 37.5%減)



連結自己資本比率

79.6%
(前期比 同ポイント)



代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

事業領域の拡大による持続的な成長基盤の構築に取り組んでまいります。

ごあいさつ

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動の低下が生じ、その後はサプライチェーンの復旧と震災復興の公的需要の下支えにより、緩やかに回復基調にありました。しかしながら、欧州債務危機が依然として解決されないことや中国の成長鈍化等による世界経済の減速懸念、また、円高やタイで発生した大洪水による企業の収益圧迫懸念により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。外食業界におきましても、低迷する雇用情勢や所得環境が続く中、消費者の節約志向や内食傾向、さらには原材料価格の上昇により厳しい経営環境で推移しました。

このような状況下で、当社グループは、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」

の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で55店舗(直営店舗27店舗、加盟店舗19店舗、海外9店舗)を新規に出店するとともに、ブランド価値の向上策、業務の効率化、新規業態の立ち上げ、新メニュー開発など既存事業の強化に努めました。新たな取り組みといたしましては、海外事業の一層の拡大のためにシンガポールの業務提携先企業を子会社化、台湾においては子会社を設立するとともに、中国では上海に初めて出店しました。また事業会社ごとに行っていた海外事業を一元的に管理し、スピード感を持って事業展開できるように100%子会社「D&Nインターナショナル株式会社」を設立しました。

当社では、国内既存事業の安定成長とグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大による成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値増大を目指してまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規出店に関する考え方を教えてください。

新規出店に対する考え方は、売上・利益が見込める厳選した立地への店舗展開を行い、一店舗ごとのさらなる質的向上を目指しております。グループ全体の新規出店数としては、カフェ業態で40~50店舗、レストラン業態で15~20店舗、その他5~10店舗、年間合計で60~80店舗を目処に新規出店していく予定です。一方で、既存店舗を強化するために、グループ各業

態ともに定番商品のリニューアルや新メニューの継続的な導入など魅力ある商品作りに注力しております。また、ドトールコーヒーショップにおいては、街のアイコンショップ、ランドマークとなるようなデザイン設計に変更するなど、店舗改装におけるブランド力の強化に努めるとともに、レストラン部門の新業態開発や業態変更などにも力を入れております。

今後については、新たな成長のために、アジアを中心とした海外への出店にも注力し、事業の拡大を図っていく所存です。

自社株買いや配当など、株主還元に関する考え方を教えてください。

手持ち資金については、将来に向けた成長への設備投資、事業拡大のための海外展開やM&A、そして株主還元を中心に常に検討しております。

既に何度か行っている自社株買いを今後も機動的に行うことはありますが、現時点では成長へ向けた国内及び海外への投資を重視したいと考えております。また、現在保有している自己株式については、将来においてM&Aなど戦略的な投資資金が必要となることから償却することは計画しておりません。

配当については、安定的かつ利益に応じた配分にしております。減益が続いたことから配当性向が50%を超えることとなりましたが、基本的には配当性向30%程度がひとつの目安と思っております。今後は業績を良くすることで、配当増ができるよう努力していく所存です。

2013年2月期の見通しについて教えてください。

通期予想については、既存店の回復傾向やチルド飲料など卸売の拡大などが想定されること、また資産除去債務費用など特殊要因による特別損失がなくなることから、売上高1,106億円（前期比2.7%増）、営業利益77億円（同8.7%増）、当期利益40億円（同62.4%増）を見込んでおります。

外食業界を取り巻く環境は、低価格競争の継続や原材料価格の上昇のほか、個人所得の低迷による外食頻度の減少など、厳しい環境が継続するものと予想されます。このような環境下、当社グループではリ・ブランディングや新商品の開発を含めた商品力のアップ、新規出店、新業態開発のほか、グループのノウハウの共有化による収益シナジーの創出により高収益の体質を目指すとともに、高成長が期待できるアジアを中心

とした海外事業の本格的な展開を図る所存であります。今後は高収益と高成長を兼ね備えた企業として、「外食産業における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指すとともに、グローバル展開による企業価値の増大を目指してまいります。

株主の皆様方におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

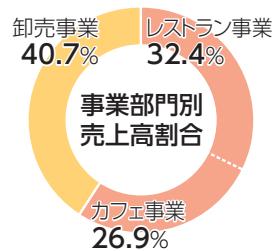
代表取締役会長
山内 実

代表取締役社長
星野 正則

BUSINESS REVIEW

レストラン事業

レストラン事業における新展開としましては、「星乃珈琲店」、「イタリアンパールOTTO」、「牛たん焼き仙台辺見」の新業態を開発し、これらの業態の多店舗化に努めました。海外展開については、シンガポールでは事業展開の加速化のために業務提携先である「The Asian Kitchen Food Company Pte Ltd」を子会社化する他、子会社の再編を行いました。同地域では「洋麺屋五右衛門」4店舗と「The Asian Kitchen」1店舗を出店しました。中国では、営業基盤確立のため、上海に「洋麺屋五右衛門」3店舗と「洋食 寅八軒」の1店舗を出店しました。



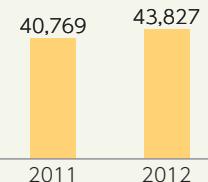
レストラン事業の売上高



カフェ事業の売上高



卸売事業の売上高



カフェ事業

カフェ事業では、ドトールコーヒーショップにおいて「シンプルなのに工夫された、毎日食べても飽きないメニュー」をコンセプトに、忙しくても手軽に朝食を摂れると大変ご好評いただいている朝だけセットのリニューアルや定期的に新品を発売するなど、魅力ある商品作りに注力いたしました。また、ドトールコーヒーショップ30周年を機に、瞬時にブランドを判別できるように、店舗看板、サイン、販促物、消耗品などに使用するロゴを「DOUTOR」のシンプルなデザインに統一しております。店舗改装においても、街のアイコンショップ、ランドマークとなるようなデザイン設計に変更することで、ブランド力の強化に努めました。海外展開については、台湾において現地法人100%子会社を設立し、加盟店であったドトールコーヒーショップ2店舗を譲受け、直営での運営を開始し、本格的な事業の拡大に向けた基盤の整備を行いました。

卸売事業

一般卸売事業では、スーパーなどの量販店向け商品の販売拡大、ドリップコーヒーやコーヒー原料の販路拡大に努めたほか、チルド飲料における定番商品の販売拡大と新商品の継続的な投入により、売上の拡大に努めました。また、海外展開では、韓国に続き台湾市場においてもドトールブランドのチルド飲料の発売を開始し、現地のお客様に大変ご好評を頂くなど、業容の拡大を図ることができました。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期	前期
	2012年2月29日現在	2011年2月28日現在
資産の部		
流動資産	32,378	28,967
固定資産	70,466	73,269
有形固定資産	35,021	36,028
無形固定資産	1,643	1,726
投資その他の資産	33,801	35,514
資産合計	102,845	102,236
負債の部		
流動負債	15,281	15,702
固定負債	5,624	5,163
負債合計	20,905	20,865
純資産の部		
株主資本	82,544	82,248
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	58,471	57,233
自己株式	△ 2,784	△ 1,844
その他の包括利益累計額	△ 681	△ 933
その他有価証券評価差額金	△ 550	△ 669
繰延ヘッジ損益	△ 126	△ 262
為替換算調整勘定	△ 4	△ 0
少数株主持分	76	55
純資産合計	81,939	81,370
負債及び純資産合計	102,845	102,236

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期	前期
	2011年3月 1日から 2012年2月29日まで	2010年3月 1日から 2011年2月28日まで
売上高	107,721	105,011
売上原価	44,762	41,823
売上総利益	62,958	63,188
販売費及び一般管理費	55,861	55,474
営業利益	7,096	7,713
営業外収益	525	541
営業外費用	147	155
経常利益	7,475	8,099
特別利益	78	179
特別損失	1,877	807
税金等調整前当期純利益	5,676	7,472
法人税、住民税及び事業税	3,049	3,649
法人税等調整額	113	△ 202
少数株主損益調整前当期純利益	2,513	—
少数株主利益	0	4
当期純利益	2,513	4,019

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期	前期
	2011年3月 1日から 2012年2月29日まで	2010年3月 1日から 2011年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,758	9,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,873	△ 4,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,990	△ 4,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,886	1,322
現金及び現金同等物の期首残高	19,011	17,689
現金及び現金同等物の期末残高	20,898	19,011

トピックス・ア・ラ・カルト

新業態「星乃珈琲店」の展開をスタート
サンメリーとの併設店も

ハンドドリップにこだわった 本格派の味わい

本格派珈琲店として、豆選びから徹底的にこだわり、それぞれの珈琲豆の特徴にあわせて全て自社焙煎。手間を惜しまずハンドドリップにこだわり、一杯ずつ真心を込めて淹れた珈琲は、豆の「香り」と「コク」を最大限に引き出しています。店内は、アンティークのソファや時計をあしらひ、お客様にゆったりとくつろげる極上の時間と空間を提供しております。また、一枚一枚を丁寧に窯で焼き上げ、ふわふわの生地にとろーりシロップをかけた自慢の窯焼きスフレパンケーキのほか、スフレドリアや窯焼カレーなどフードメニューやスイーツも豊富に取り揃えております。

グループの持つさまざまな業態のノウハウを最大限に生かした「星乃珈琲店」。美味しい珈琲などを心ゆくまでお楽しみください。



青山ベルコモンズ店



鶴ヶ島店



星乃珈琲店



(上から)星乃ブレンド、窯焼きスフレパンケーキ

※ 商品は店舗により一部異なります。

おいしくてからだにも良い天然酵母パンを揃えた
石窯パン工房サンメリー

話題の食材“塩麴”を取り入れた 新しい味を提供

「からだによいものはおいしい」という古来からの知恵に沿った商品と人にやさしいお店をめざし、本物の味、安心素材にこだわったパン作りに取り組んでいるサンメリーにおいて、話題の食材“塩麴”を取り入れた新しい商品を続々と発売しております。

“塩麴”は、肉魚が冷めてもやわらかく、臭みを取り、減塩もできるとして注目されている調味料のひとつです。サンメリーでは、店舗で麴菌から約1週間をかけて仕込み、パン生地に練りこんでおります。焼き立ては、ふんわりと麴の香りが心地よく、翌日になってもパンが柔らかいと、お客様からも大変ご好評を頂いております。

紅塩麴食パン、塩麴あんぱん、塩麴金時豆パンなど種類も豊富に取り揃えておりますので、是非お近くのサンメリーにてお試しください。



塩麴ペースト

オトクなクーポンや新作をモバイルにメール配信いたします！
ぜひご入会ください！

携帯又はスマートフォンで右のQRコードか下記URLにアクセスください。
<http://m.sunmerrys.co.jp>

ドメイン指定受信(迷惑メール)設定をされている方は、
m.sunmerrys.co.jp を受信できるように設定してください



天然酵母の本格派
石窯パン工房
SUNMERRY'S



(上から)紅塩麴2斤、塩麴金時豆パン、塩麴プチフランス3種、塩麴あんぱん

栄養価満点の健康食、極上の厚切り牛たんをどうぞ!

「牛たん焼き仙台辺見」 都市部に集中出店

「牛たん焼き仙台辺見」は、仙台名物の牛たん焼きの専門店です。

牛たんは、牛肉と比較してカロリーや脂肪が非常に少なく、ノンコレステロールの良質なたんぱく質が多く含まれたヘルシーフード。「牛たん焼き仙台辺見」では、厳選した上質の牛たんを1枚1枚丁寧に手切りし、牛たんそのものの本来の美味しさを味わうために、厚切りたんの味付けは塩と胡椒だけ。味付けされた牛たんは一日から二日間熟成させた後、炭火でサッと焼き上げます。食物繊維が豊富な麦飯との組み合わせはまさに健康食そのもの。美味しく、栄養価満点の健康食、「牛たん焼き仙台辺見」を是非お試しください。

牛たん焼き 仙台辺見



厚切り牛たん定食

今年の
新規出店

店名	オープン日
牛たん焼き仙台辺見 阪急32番街店	1月24日
牛たん焼き仙台辺見 銀座コア店	1月31日
牛たん焼き仙台辺見 新宿パレット店	1月31日
牛たん焼き仙台辺見 三宮店	3月 5日
牛たん焼きと比内地鶏仙台辺見 新宿東口店	3月10日
牛たん焼き仙台辺見 渋谷八番街店	3月16日



阪急32番街店



渋谷八番街店

世界中から選りすぐった極上の生豆を丁寧にロースト

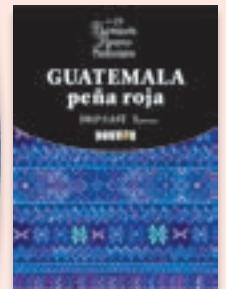
プレミアム ビーンズ セレクション続々登場

ドトールコーヒーショップがお届けする『プレミアム ビーンズ セレクション』とは、世界のコーヒー産地を旅して見つけた選りすぐりの希少な生豆だけを、ドトールの直火焙煎技術により丁寧に煎りあげた高品質のコーヒービーンズシリーズです。ワインのようなデリケートな味わいは、コーヒー通のお客様はもちろん、コーヒーに普段から親しまれているお客様に是非一度お試しください。グルメコーヒーとなっております。

原材料となる生豆の買い付けでは、直接産地に出向き、生産者と語り、さらにその年ごとに収穫の良し悪しを確認することで、毎回、希少なコーヒーを数量限定でお届けしております。

ドトールの品質へのこだわりを最大限に追求したプレミアムビーンズセレクションを是非ご堪能ください。

DOUTOR



グアテマラ ペニャ ロハ



赤坂1丁目店



※一部取扱っていない店舗がございます。



コスタリカ セント タラス

CORPORATE PROFILE

株式会社ドトール・日レスホールディングス

設立 2007年10月1日
 資本金 10億円
 従業員数 2,318名(連結)
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-5459-9178(代表)
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9178(代表)
 U R L <http://www.dnh.co.jp>

●取締役

代表取締役会長 山内 実
 代表取締役社長 星野 正則
 常務取締役 木高 毅史
 取締役 大林 諒史
 取締役 鳥羽 豊
 取締役 稲森 六郎
 取締役 青木 幸隆
 取締役 津田 庄三
 (社外)取締役 財前 宏
 (社外)取締役 五味 淳吾

●監査役

常勤監査役 郷井 義郎
 常勤監査役 宮林 哲夫
 監査役 梶川 浩
 監査役 吉島 重鐵

株式会社ドトールコーヒー

設立 1962年4月
 資本金 111億41百万円
 本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9008
 U R L <http://www.doutor.co.jp>

日本レストランシステム株式会社

設立 1973年6月
 資本金 35億5百万円
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-6743-7010
 U R L <http://www.n-rs.co.jp>

D&Nコンフェクショナリー株式会社

設立 2008年8月 資本金 4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

設立 2008年12月 資本金 2億円

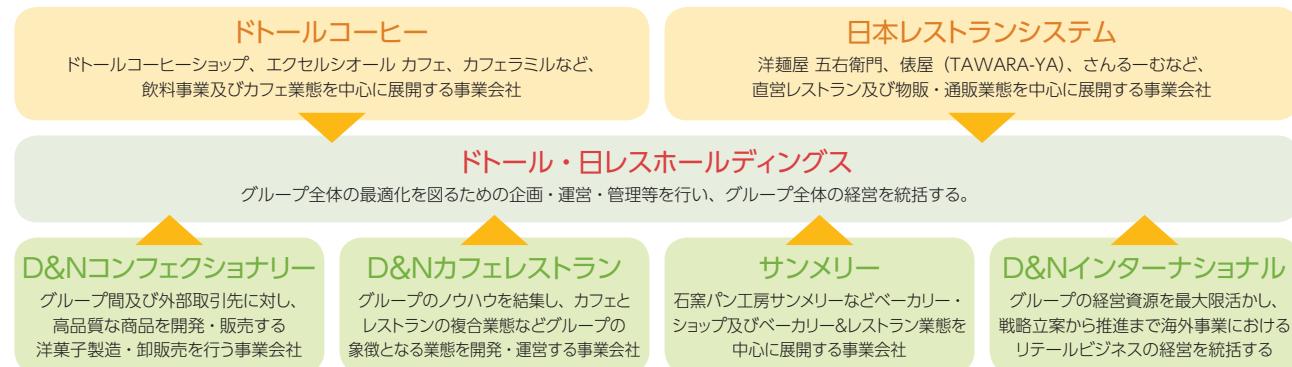
株式会社サンメリー

設立 1969年7月 資本金 50百万円

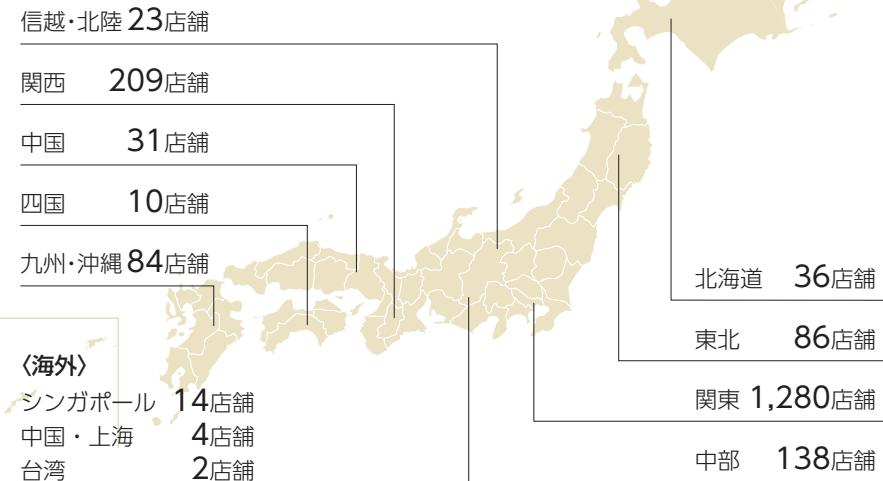
D&Nインターナショナル株式会社

設立 2011年8月 資本金 50百万円

グループ事業の概況

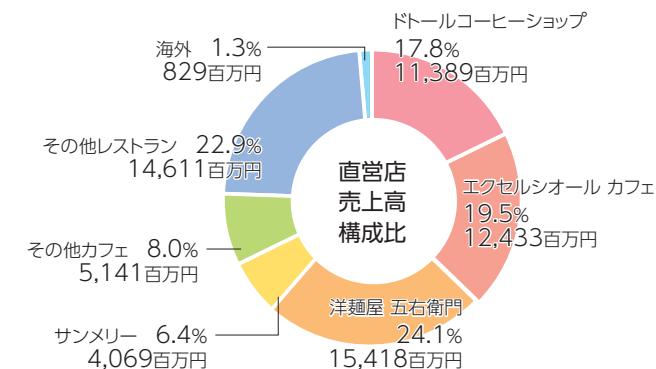


●地域別店舗数



●業態別店舗数 (2012年2月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,120	975
エクセルシオール カフェ	162	37
カフェ コロラド	79	77
洋麺屋 五右衛門	207	—
サンメリー	43	—
海外	20	—
その他	286	5
合計	1,917	1,094



※直営店の売上高は総売上高の59.3%を占めます。

本誌掲載情報の詳細については
 当社WEBサイトを
 ご参照ください。

<http://www.dnh.co.jp>



ドトール日レス

STOCK INFORMATION

● 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	44,709名

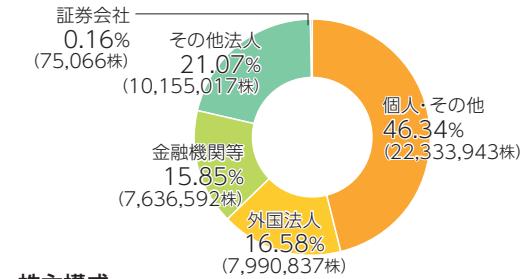
● 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 裕史	6,748	14.00
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
鳥羽 博道	2,430	5.04
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,815	3.77
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,343	2.79
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントアメリカンクライアント	1,244	2.58
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,206	2.50
山内 実	924	1.92

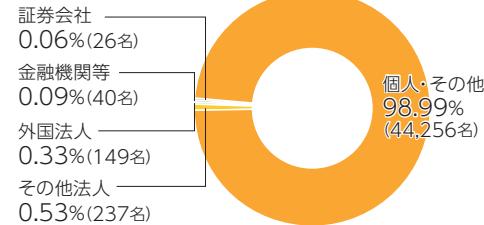
※持株比率は自己株式(2,418千株)を控除しております。

● 株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
定時株主総会	毎年5月に開催します。	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日	郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
1単元の株式数	100株	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
		電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

● 株主優待のご案内

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年6月の贈呈を予定しております。

優待制度の内容

- 100株以上500株未満
2,500円相当の商品
- 500株以上
4,500円相当の商品

● 株式に関するお知らせ

● 単元未満株式の買取・買増について

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増を請求することができます。
当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、不足分を買い増していただき単元株式(100株)にまとめる単元未満株式の「買増制度」をご利用いただけます。

● 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただきます。
確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



● 株式に関する手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL: 0120-288-324
●単元未満株式の買取請求 ●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項		
●未払い配当金	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行・みずほインベスターズ証券でもお取扱いいたします。	

お問い合わせ先(株主名簿管理人) 取次所 **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324**
みずほ信託銀行株式会社 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店